

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成18年3月23日(2006.3.23)

【公表番号】特表2002-507579(P2002-507579A)

【公表日】平成14年3月12日(2002.3.12)

【出願番号】特願2000-537569(P2000-537569)

【国際特許分類】

A 6 1 K 31/18 (2006.01)

A 6 1 K 31/4045 (2006.01)

A 6 1 P 7/02 (2006.01)

A 6 1 P 9/00 (2006.01)

A 6 1 P 9/10 (2006.01)

A 6 1 P 25/00 (2006.01)

A 6 1 P 25/28 (2006.01)

A 6 1 P 43/00 (2006.01)

C 0 7 K 5/06 (2006.01)

A 6 1 K 38/55 (2006.01)

C 0 7 D 209/14 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 31/18

A 6 1 K 31/4045

A 6 1 P 7/02

A 6 1 P 9/00

A 6 1 P 9/10

A 6 1 P 25/00

A 6 1 P 25/28

A 6 1 P 43/00 1 1 1

C 0 7 K 5/06

A 6 1 K 37/64

C 0 7 D 209/14

【手続補正書】

【提出日】平成18年1月27日(2006.1.27)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

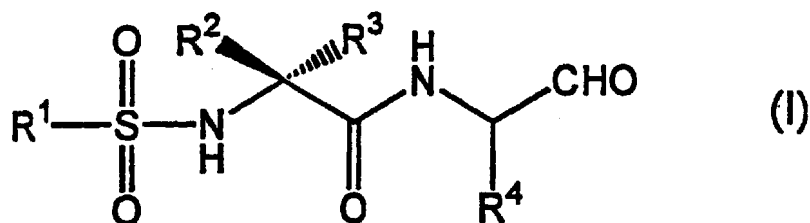
【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】 有効成分として、下式(I)

【化1】



〔式中、 R^1 は炭素数1～4のアルキル基または置換されていてもよい炭素数6～10のアリール基を示し； R^2 と R^3 は同一または異なってよく、それぞれ水素または炭素数1～4のアルキル基を示すか、あるいは R^2 と R^3 とが連結して炭素数3～7の環を形成してもよく； R^4 はアリール、シクロアルキルまたは芳香族複素環残基で置換されていてもよい低級アルキル基を示す。〕

の化合物またはその医薬上許容される塩を含有してなる脳組織障害の予防または治療用医薬組成物。

【請求項2】 式(I)における R^1 がフッ素、塩素もしくはメチルで置換されていてもよい、フェニルまたはナフチルである、請求項1記載の医薬組成物。

【請求項3】 式(I)における R^1 がメチル、4-フルオロフェニル、4-クロロフェニル、p-トリルおよび2-ナフチルからなる群より選ばれる基である、請求項1記載の医薬組成物。

【請求項4】 式(I)において、 R^2 がプロピル、イソプロピルまたはtert-ブチルであり、かつ R^3 が水素である、請求項1記載の医薬組成物。

【請求項5】 式(I)において、 R^2 がイソプロピルであり、かつ R^3 が水素である、請求項1記載の医薬組成物。

【請求項6】 式(I)において、 R^2 と R^3 とが連結してシクロペンチリデンまたはシクロヘキシリデンを形成する、請求項1記載の医薬組成物。

【請求項7】 式(I)において、 R^4 がイソブチル、ベンジル、シクロヘキシルメチルおよびインドール-3-イルメチルからなる群より選ばれる基である、請求項1記載の医薬組成物。

【請求項8】 有効成分が、N-(4-フルオロフェニルスルホニル)-L-バリル-L-ロイシナールまたはその医薬上許容される塩である、請求項1記載の医薬組成物。

【請求項9】 脳組織障害が、脳血流の不全に起因するものである、請求項1～8のいずれかに記載の医薬組成物。